常磐毎日新聞

一月十二日　夕刊

印刷の御用は常磐毎日印刷株式會社へ　電話六三〇番

水道破裂して

奔龍の如く噴水！

被害一週間に約四百件

工夫等不眠不休の猛闘

此際に凍結豫防が急務

猛寒被害の脅威

平市は小寒入りの六日以來急激に溫度が下降し嚴寒の襲來と共に水道の凍結被害は實に甚大なものがある、即ち水道課に急告し來る件數は一日に五、六十件に及び六日以來本日迄の一週間に合計實に三百八十四件の多きに達し此の内二百卅二件は水管の破裂に依つて奔龍の如く噴水、勘からず需要者側を面喰はせた、水道課では眞野技師始め課員や工夫が總出動して

修繕に 必死となつて居るが矢繼早な故障の潮發に容易に手廻りかねて恐慌を來し止むなく破裂の個所にのみ應急の處置を構じ凍結は其儘放置の狀態である、右に關し

當局の 語る處に依れば『數日來の猛寒で各家庭の御迷惑は一方でないと思ひます、凍結したのが溫度の上昇と共に膨張して遂に破裂する事になりますので、破裂の被害は午後の一時か二時頃に最も多いのです、是れが

一時に 殺到しますので全く轉手古舞ひです先頃は地震の被害が四百件近くもあり漸く此の修繕の終りかけた處へ今度は凍結被害の襲來となつたのですから私共としては息つく暇もありません今後も一層の

猛寒の 來る事を覺悟しなければなりません

から各家庭に於ても相當給水栓の防寒裝置を施し寒厳に依つて弁龍の如く噴水、勘からず需要者側を面喰はせた、水道課では眞野技師始め課員や工夫が總出動して

修繕に 必死となつて居るが矢繼早な故障の潮發に容易に手廻りかねて恐慌を來し止むなく破裂の個所にのみ應急の處置を構じ凍結は其儘放置の狀態である、右に關し

當局の 語る處に依れば『數日來の猛寒で各家庭の御迷惑は一方でないと思ひます、凍結したのが溫度の上昇と共に膨張して遂に破裂する事になりますので、破裂の被害は午後の一時か二時頃に最も多いのです、是れが

一時に 殺到しますので全く轉手古舞ひです先頃は地震の被害が四百件近くもあり漸く此の修繕の終りかけた處へ今度は凍結被害の襲來となつたのですから私共としては息つく暇もありません今後も一層の

猛寒の 來る事を覺悟しなければなりません

一週間に約四百件

工夫等不眠不休の猛闘

此際に凍結豫防が急務

悟しなければなりません

から各家庭に於ても相當給水栓の防寒裝置を施し寒厳に依つて弁龍の如く噴水、勘からず需要者側を面喰はせた、水道課では眞野技師始め課員や工夫が總出動して

修繕に 必死となつて居るが矢繼早な故障の潮發に容易に手廻りかねて恐慌を來し止むなく破裂の個所にのみ應急の處置を構じ凍結は其儘放置の狀態である、右に關し

當局の 語る處に依れば『數日來の猛寒で各家庭の御迷惑は一方でないと思ひます、凍結したのが溫度の上昇と共に膨張して遂に破裂する事になりますので、破裂の被害は午後の一時か二時頃に最も多いのです、是れが

一時に 殺到しますので全く轉手古舞ひです先頃は地震の被害が四百件近くもあり漸く此の修繕の終りかけた處へ今度は凍結被害の襲來となつたのですから私共としては息つく暇もありません今後も一層の

猛寒の 來る事を覺悟しなければなりません

◎給水栓の凍結豫防方法

イ、給水栓が屋内に在りましても蛇口から水栓柱全体を莚又は不用綿毛布類で包むこと

ロ、屋外から屋内に蛇口だけ出て居る物は蛇口を綿布又は不用綿毛布類で包むこと

ハ、屋内の給水栓は特に良く莚などで包むこと

ニ、二階三階等に給水管の立上つて居るもので特に水抜栓が裝置してある家庭は使用後必ず水抜を忘れぬ樣にすること

ホ、メートル器が屋外にありますものは其處から結凍致しますから古俵樣のもの二、三枚上から掛けること殊に北向きにあるものは注意すること

◎解凍の方法

給水栓が凍結したときは綿布類を當て上から間接に溫湯を注ぎ掛けること、若し熱湯を直接掛けると破損の惧れがあります、量水器「ボックス」の前後か凍結するときが多々ありますから「ボックス」も溫湯を掛けること

◎破損漏水の場合

工合の悪い給水栓其他の事故は四二七番へ電話で御知せ下されば即時修繕に參りますが破裂が方々に一時に澤山生じますので係員が參りますまで綿布其他で漏水を一時防ぎ置くこと、

◎放流

凍結豫防のため終夜小量宛放流することは弊害が多いのみならず莚背行爲でありますから特に御注意下さい

値上りの筆頭は

小麥の二十四圓

市内の日用品物價

二三は統制が奏効

平市役所では市内における昨年下半期の日用品物價を調査中のところこの程漸く纒つた、これによると十二月頃の物價は七八月に比べ何れも昂騰を示し一石十八圓五十錢であつた小麥の如き一躍二十四圓に飛び昂騰品目中の鉾頭を示し次が小豆の二十一円三十錢が二十四圓に跳ね上がり米も上一石三十四圓四十錢が三十五圓、中三十三圓四十錢が三十四圓、下三十二圓四十錢が三十三圓に上つてゐる

一方値下りは麻百斤三百圓であつたが約半値の百六十円、石炭一瓲十八圓五十錢が十六圓五十錢となり是れ等は價格統制の効果を示して居る

高橋專賣局長が

煙草耕作を視察

濱三郡煙草耕作組合長會は既記の如く十日專賣局平出張で開き煙草組合の組織其の他に關し協議したが

これに臨席した高橋郡山專賣局長は十一、十二の兩日に亘り濱三郡下の煙草ホワイトバレー種耕作地を視察して十三日歸廳した

植田署表彰

植田署では昨年中の成績優秀者として增子、山田、遠藤(巡)の三巡査に對しその程金一封を添へ鯉淵署長が表彰した

賭博罪罰金

錦村

昭和人絹工場紡糸係矢部隆司(三七)同菅野康三郎(二九)同中出謹光(二四)同安田義寄(二二)同鈴木清三郎(二二)同菊地德造(二二)同長谷川吉男(二四)の八名は昨年十一月八日から三十日頃迄の間同工場寄宿舍で花札賭博を開張したこと發覺今十二日平區から賭博罪でいづれも略式罰金十圓宛に處された

市内の日用品物價

二三は統制が奏効

平市役所では市内における昨年下半期の日用品物價を調査中のところこの程漸く纒つた、これによると十二月頃の物價は七八月に比べ何れも昂騰を示し一石十八圓五十錢であつた小麥の如き一躍二十四圓に飛び昂騰品目中の鉾頭を示し次が小豆の二十一円三十錢が二十四圓に跳ね上がり米も上一石三十四圓四十錢が三十五圓、中三十三圓四十錢が三十四圓、下三十二圓四十錢が三十三圓に上つてゐる

一方値下りは麻百斤三百圓であつたが約半値の百六十円、石炭一瓲十八圓五十錢が十六圓五十錢となり是れ等は價格統制の効果を示して居る

團体訓練に

對…寒…体…操

武道稽古の期間中

第一校の試み

平第一校の武道寒稽古は明十三日から八日間午前五時半から六時半迄(高等科)と午後一時から二時半迄(尋常科)の二班に分け行はれるが本年はこの期間中特に對寒体操を行ふことになつた

これは國民体位の向上を緊要とするとき嚴冬中もなほ寒さを克服する氣力と体力を增進鍛錬する一方に團體的訓練を勵むもので地方におけるトツプを切つた行事だけに各方面から期待されてゐる

踏み外し

三十尺墜落

小名濱町古湊日素工場當職小松銓次郎君(二五)は十一日午前十一時頃高さ三十尺のところで作業中誤つて足を踏みはづしコンクリートの床に墜落重傷を負ひ內出血甚だしく生命危篤である

過失致死言渡

植田町トラック營業佐藤庄吉氏方運轉手小澤清作(二五)に係る業務上過失傷害至死事件の公判は十一日平區で開廷された

同人は昨年十一月十五日茨城縣多賀郡關南村神岡地內國道でスプリングが折れてゐたにも拘らず二十五キロのスピードで疾走通り合はした同村沼田清氏次男義夫君(八)を轢殺したものである

武田檢事から禁錮三ケ月を求刑されたが茂野判事から求刑通り禁錮三ケ月但し執行猶豫二年間といふ寛大な判決を言渡された

感心な兒童

山田

村小學校では高等二年生遠藤須滿子さん(一五)四年生澤田廣君(二二)の兩名を銃後の善行兒童としてこの程表彰したが、尙村報に掲轉して戰線の勇士達へ送ることになつた

△遠藤さんは父孝一氏が出征後母愛子さん(三七)が老祖父富喜さん(六三)並に幼兒六人を抱いて農事に勵んでゐるのを扶け弟妹の世話は勿論家事一切を引受け評判になつてゐる

△澤田君は八年前父榮夫さんが死去、母ふさのさん(四四)が雜貨商をしながら三兒を養育してくれるのに感謝子供ながら登校前毎朝商ひ物を需めに植田町まで約一里半の道を自轉車で通ひ歸校後は註文取や配達に駈け廻つてゐる

鮟川堰の

臨時委員

鮟川堰水利組合の臨時總會は來る十五日午前十時から平團体事務所に開かれるが左記七名の臨時委員を選擧する

△小名濱二名(玉川、泉、渡邊、植田、上遠野各一名

小學校打合

既報

去る十日行ふ筈であつた市內各小學校の三學期行事打合せは都合により今十二日に延期午前十一時から第二校會議室で行つた

鉛管を盜む

錦村

昭和人絹會社職工渡邊正義(三三)は三日から七日まで歸國に亘り倉庫から鉛管三貫二百匁を盜んだこと發覺、今十二日植田署に檢擧された

市内各小學校の三學期行事

▼後六、〇〇　子供の時間

▼後六、三〇　國民歌謠

▼後七、三〇　講演

▼後七、四〇　ツアイオリン獨奏入岡逸英

▼後八、〇〇　ラヂオ小說「虔美人草」笠助、外

▼後八、四〇　「童話劇」

▼後八、五〇　金剛琴獨奏

▼後九、〇〇　婦人の時間「支那の開發は我國の經濟にどう響くか」經濟學博士飯島幡司

▼後九、三〇　講演

▼後九、四〇　ツアイオリン獨奏入岡逸英

▼後九、四五　ラヂオ小說「虔美人草」笠助、外

明日の部

▼一〇、二〇　婦人の時間「支那の開發は我國の經濟にどう響くか」經濟學博士飯島幡司

▼後三、〇〇　母の時間、諸家の庭訓(二)明治時代の庭訓石川謙

▼後三、三〇　教師の時間「青年學校教育義務制實施について」文部省社會教育局長田中重之

▼後四、三〇　大相撲春場所實況(二日目)兩國國技館より中繼

▼後六、〇〇　唱歌とバアイオリン獨奏、日本放送交響樂團指揮小船幸次郎

▼後八、四〇　講談「吃の又平」神田山陽

高久病院

院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄

平市田町　電話五一三番

內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科

——◎看護婦至急募集——

吸入用酸素　99%純度

體溫計　寒暖計

秤量器　ハカリ　マス　スケール　モノサシ

秤ノ取緒●垂糸●修繕致シマス

寫眞材料一式販賣致シマス

電話四〇番

商人講座

働く者の……

ココロガマエ

東京能率研究所長　黑川カオル

（承前）

◎使われやすい人になれ

月給取の出世のコツは「使われやすい人」になることである

自分より メシタの者に對しては ムヤミに尊大ぶる人が前にでると ペコ〳〵と頭をさげるロク〳〵物もわない人がある

上役に對して 一度上役の氣オクレがして たゞ ばかりで

上役の云うことには「ゴムリ ごもツとも」と受けてしまつて ツイ安うけあいが完成せず ソノために「アノ男は無能だ」などと云われるハメになる

上役に對して 十分に意見や提案が できるやうに 修養を つむことが大事 イタズラに メシタの者に對して 天狗になることが 能でない

出世のイトグチは「アノ男は タノミよい 男だ」と 上役から思われ信用されることである

◎共同精神を重んぜよ

多數の人が共に 一つの目標のジコトをする場合には 共同精神を重んじなければならない「アイツは 大した奴じゃないョ」と 他人をケナシたりする代りに 彼の長所だけを見て ホメてやり 氣持を心から サワヤカに モツて 彼にあたれば 彼も亦 モチマエの力をだして協力してくれる

人を ケリおとして 昇進しやうとする アサマシイ 人もないではない。コノ型の人などはもツとも 共同精神を破る人だ

エラクなることは 自分勝手になるのではない 自分の力が 人なみよりスグレていたから エラクなツた のだと斷言できない。エラクなツたのは 人々が おミコシをかつぎ あげるように イツのまにか 自分をもちあげて くれた オカゲである

共同の力の アラワレとして 自分をエラクさせて もらツた と云うことである

（本文は 文部省案發音カナヅカイ法によつている）

（終）

第二校の正副級長

平第二小學校では既報の如く今十二日三學期に於ける各學年の正副級長を左の如く任命した

△三ノ一　篠田芳子、吉田富子△三ノ二小野武崎垣男　廣邊一之部武久　渡邊辰男　鵜沼秀夫　鈴木廣男　馬目修義　吉成晴保　大和田武夫　永山正巳柏原泰蔵　廣川晴一坂本政直　佐藤政明（五年）長谷川直義　佐々木健夫　石山達夫佐藤孝志　大塚和夫渡邊眞一　阿部乙元國井英吉　小林智年岩本堅一　山崎慶一金成芳男　正木和夫鈴木紀四夫　丸山久司（六年）篠田正雄　萬崎文夫　栗田孝一　三井隆夫　坂本剛　清水宣政　草野秀夫　小野健二郎　吉田昌八　志田仁男　菊地武彦　綠川昭　鳥海司郎　作山和男　大和田一郎（高一）古川勝彦　酒井啓隆　藤田正博　高橋富男　齋藤博　木澤榮六松本正一　丸山一郎鈴木秀直　坂本一　菅甫　佐竹五郎　山崎文平　安部嘉明　山澤条三（高一）松本勝平鈴木公平　齋田義郎相笠茂美　澄田欣司水竹甲子郎　野澤芳男渡邊英夫　小山秀夫松崎佐二郎　甲內喜一鈴木勇　遠藤保男　小野勢　引地芳一

園　子、原光代△三ノ三矢野利枝、菊地和子△四ノ一宮川幸子、安齋照子△四ノ二小齋春子、神長倉公子△四ノ三藤田耀子、菅本シゲ△五ノ一高田玉惠、吉原禎子△五ノ二關內陽子、大谷鄰子△五ノ三高子テル、田巻嬌子△六ノ一佐藤惠美子、坂本雅子△六ノ二小原喜惠子、涌井千枝子△六ノ三鈴木文子△高一ノ一深谷トシ子、三輪美智子△同一ノ二布施敏子、木下喜代子△同一ノ三西郷京子、園部ツタ△高二ノ一白土フク、本村とみ子△同二ノ二福本文子、下山田愛子△同二ノ三佐藤正子、木下良子

第二校の正副級長

平第二小學校では既報の如く今十二日三學期に於ける各學年の正副級長を左の如く任命した

△三ノ一　篠田芳子、吉田富子△三ノ二小野武崎垣男　廣邊一之部武久　渡邊辰男　鵜沼秀夫　鈴木廣男　馬目修義　吉成晴保　大和田武夫　永山正巳柏原泰蔵　廣川晴一坂本政直　佐藤政明（五年）長谷川直義　佐々木健夫　石山達夫佐藤孝志　大塚和夫渡邊眞一　阿部乙元國井英吉　小林智年岩本堅一　山崎慶一金成芳男　正木和夫鈴木紀四夫　丸山久司（六年）篠田正雄　萬崎文夫　栗田孝一　三井隆夫　坂本剛　清水宣政　草野秀夫　小野健二郎　吉田昌八　志田仁男　菊地武彦　綠川昭　鳥海司郎　作山和男　大和田一郎（高一）古川勝彦　酒井啓隆　藤田正博　高橋富男　齋藤博　木澤榮六松本正一　丸山一郎鈴木秀直　坂本一　菅甫　佐竹五郎　山崎文平　安部嘉明　山澤条三（高一）松本勝平鈴木公平　齋田義郎相笠茂美　澄田欣司水竹甲子郎　野澤芳男渡邊英夫　小山秀夫松崎佐二郎　甲內喜一鈴木勇　遠藤保男　小野勢　引地芳一

自動車道路改修の急務

小名濱支局通信

支局長　小野務平

平小線の湯本廻り、或は片溜廻りと云ふ運動は今猶其氣勢を衆ぐる事殷賑を極め鐵道當匝をして遂方に落れしめて居る現狀に照し見て記者は其何れも平小線本來の使命に即せざる事を痛切に感じた事がある、即ち小名濱支局より通勤の關係上二度三度小名濱、平間の直通自動車に依つて縣道鹿島線を通過して見た、そして之の縣道をして何ればかくも甚だしき屈曲を其儘として營業繼續をして居るかに不思議を感じせしめたのである

平小線の使命は言ふまでもなく平、小名濱兩市町の近接を第一として出來得るだけ距離を短縮する事に依つて初めて其目的を貫徹さるゝものである、鐵道省は昭和三年度に於て八哩九分の平小線を適當として施工に決定して居るものが、即ち其所である筈である

然るに政變による內閣の交通から遂に今日の如き事態を醸するに至つた事は時運の横移上已むを得ないとしても平市民や小名濱町民はなぜ一日も早く人爲的に兩市町の距離を短縮し以て兩市町一丸の策を樹立する道を講ぜないのであるかを遺憾とするものである

鐵道布設が延期されたとせばそれに代る自動車道路の改修を以て之を補べ一刻も早く平市と近接せしむる策に出しざる事は兩市町に人物なしと論斷されても辯解する辭がないではないかと思はれる

幸ひの事は現に此縣道に營業路線を持つて居る野崎、鈴木兩營業者が運轉營業して居る以上、少くとも一日も早く道路の改修をなして積極的に鉅離の短縮が緊急事となつて居る事に眼を見張らなければならぬと思ふ

處が世間には斯ふ云ふ野暮を語る沒常識漢がある、自動車營業者は天下の公道を以て利益を受けて居るから改修の工費は受益者たる自動車營業者の負擔であるべきだとするが如き此れでは、勿論受益者にも責任はあるが此れに依つて便利を見て居る關係住民も共に利益を享有するものである事を考へられよう

往昔の如く平市へ徒歩した時から考へて如何に生產的に時間を割かれたかを考慮する時更に甚だしき道路の屈曲を改修して短縮された道路を馳しる自動車の活發さに依つて更に一層時間的に經濟であるかも想像し得る所であつて、茲に道路自益者以上國家的大局から言へば莫大なる生產力を造り出す事となるのである

即ち現在一時を要する道路が改修から來た爲めに二十分を短縮されたとすると一臺十名を乘せた自動車が往復六回、四臺運動すると云ふと二百四十名の乘客に對し延四千八百分の時間が生れて來る、之を生產方面に向ければ八百時間、即ち三十三日と云ふ貴重なる生產時間が生れて來るのであるから之れは自動車營業者の利益でなく乘客各個の時間の利益であるに見ても一日も早く改修を斷行し平小線が何れを廻るとしても既設計畫の使命の上に平小名濱兩市町の距離を短縮する爲めにこの案の忽諸に附すべからざる事を此關に於て强調する所以である

女客

……（158）……

吉川秋方作

……だとか云ふものは、不思議な物で、女とこへ云へば、すぐ魔物樣になつて、見たり、聽いたり、からかつたり、しかしそれが女にとつては、この上もない幸福の場合ではある。

おしんは、そんな事をされて恥かしがる、女ではないのである。聽いた聽の聽と、聽聽が合ふ、ニッコリと笑つて見ることも忘れない、ところがおしんのさうした態度は、沙漠のやうに、男ばかりの、血にかつした連中の住居をどれほど愉快にさせたであらう。

しばらく、さうした談笑をつづけて、それから一人の傳が聞いて來て

「お客は、何といふ名前か」

と、きく

「あの、眼見大明の娘だと傳しやつて下さりませ」

「名前は」

と、その傳が眼に力をこめてすぐ問をかへして

「それではどうか御遠りください」

と、傳に聽聽が、聽聽になつた。今まで、傳聽かの聽聽に近い聽聽の女と思つて居たのに違いない。

「それでは失聽、だします」

と、おしんはつゝましく、吸聽の傳の後から聽聽をかつて、廣い部屋をぬけて、奥に通つた。

傳聽の部屋にも、四、五人の傳がゴロ〳〵と聽そべつたり、聽聽になつたり、聽聽しをやつたり、聽の繪く、聽聽しくも、聽聽の聽い聽ではある。

「こゝでお待ち下さい」

と、聽されたのは、聽に聽し、聽の十聽で、さすがに聽の聽だけあつて、傳何にもすがゝくしくて聽味が溢れてゐる。

この聽で、何人聽されたり、聽られたりした聽であらう、聽聽は、女は聽石に聽を正して、背聽のひえるのを感じたのであつた。

「土方とは、一、二聽遠つて聽した聽もある聽女である。

「そなたか？」土方は聽上りのゆかたのまゝ入つて來て、おしんの聽を聽聽した聽一寸おどろいた樣であつたが、すぐ皮肉な冷笑にまぎらしてしまつた。

「ユ、笑なんです」

一時聽は聖見寺の聽君になつて聽るのか

「ユ、ユ」土方聽ユ、聽聽した。

彼は、天王寺屋の聽聽もありいふまでもなく、おしんとは、知り越しの聽であつた。

そのおしんが入ゐ聽に、夫を裝して、大坂の聽と水戸で聽つて出る、その聽聽にやゝ聽聽である土方はグッと聽にさはつたのであらう。

「さうか、聖見寺の聽君か、それほど聽を知らないと、世の中も渡りやすからう」

と、云つた聽聽に、おしんの聽は、傳にもえた。聽聽聽だけにキリ〳〵と聽がみさへしてゐる。

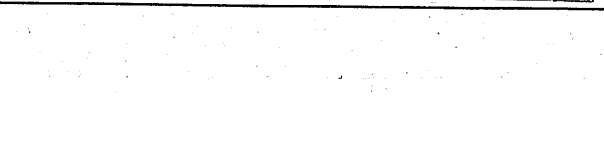
土方は、人を聽る名人で、手が聽らうが、聽しまうが、聽聽を感じない樣に、聽の聽聽は、聽手に聽して聽聽してゐる。

「何だね、馬聽に奇妙な聽をするぢやないか」

と、冷笑を浴びせた時、おしんは、

「聽女は、お傳……今、聽用しの聽いお方にも如合はない方ね」

おしんは聽聽の反抗心をくつと、聽聽して聽る聽に、聽で聽のやうに、心聽が溢たくなつて聽手に冷笑を浴げ聽る、聽めて冷聽な聽聽に聽元する聽が出來た。



病院慰問に對する希望

竹内茂代

國、國防婦人會をはじめ各婦團體はそれ〳〵銃後活動に勇んでゐられます、私もその一人として昨年九月からずつと病院慰問をつゞけて居ります、私どもの町婦人會は町とは多少その趣きを異にして、各團體を次々に慰問する樣なことはせず、もう一年近く病院の一病棟だけを慰問して參ました、かうして白衣の勇士と親しくお近づきになり、勇士達のほんとうのなげきを聞くことが出來、私達女性がしなければならぬ義務のある事をはつきり掴みました

病院で傷痍の身を慰してゐる兵隊さんには勿論無縁の人は一人もございません、國はじ不具の身となつた勇士で、未婚者であればお嫁さんが來てくれるであらうか家督者であれば今迄通り暮せ手が自分にかしづいてくれるであらうか、心の中で悩んでゐられる方が多いのです、人生で最與非常なことはあるでせうか、私はその御慰その思ひ遣ひを祈らせ、極力なぐさめてゐますか

うした悩みを打ち開けられる勇士の方々と近づきにならなければ、苦しみを慰めて上げる事に出來ません、只表面のいたはりでは夜の寂床にねられない傷痍き苦しい悩みを慰めて上げることは出來ませんですからたとへ一人でも結婚ですから、病院を慰問する婦人方は心の悩みを打ち開けられる逸人敵を慰つて慰問をつゞけられんことを希望します（愛）

靴底の革鳴り

新しい靴でもよくあることですが靴の革底がギシ〳〵きしんで嫌な音をたてることがあります、これは革底に油が切れ、革の纖維ですれ合つて音を立てるためです、これを除くにはゴマ油、大豆油、ワセリンなどを一度革に水をすはせた上から、底革一めんにおぬりになれば、ちやうどほどよくしみて音がしなくなります。（府立化學工業學校應用化學教室）

★ ★ ★

よく歌ひよく働くイタリーの若い女

質朴從順てばち切れる健康美

日本の女性へ警告

伊國青少年團が

ヒットラー・ユーゲントの來觀、わが國民伊青少年團の訪來など、若人の世界が注目されてゐますが、次代を背負ふ青少年教育について、ドイツと並んで有名なイタリーファシスト青少年團の有樣、特にイタリーの若い女性達のお聞を、わが國伊青少年團團員の東京市向島伊勢義氏に伺ひました

ヒットラー・ユーゲントの來觀、わが國民伊青少年團の訪來など、若人の世界が注目されてゐますが、次代を背負ふ青少年教育について、ドイツと並んで有名なイタリーファシスト青少年團の有樣、特にイタリーの若い女性達のお聞を、わが國伊青少年團團員の東京市向島伊勢義氏に伺ひました

ヒットラー・ユーゲントの來觀、わが國民伊青少年團の訪來など、若人の世界が注目されてゐますが、次代を背負ふ青少年教育について、ドイツと並んで有名なイタリーファシスト青少年團の有樣、特に